

エコアクション21

2023年度 環境経営レポート

私たち山陽ホドスは建設業を通じて
地域社会に貢献する技術集団をめざします



活動期間： 2023年4月1日 ～ 2024年3月31日



株式会社 山陽ホドス

発行日：2024年 6月 20日
改訂日： 年 月 日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社山陽ホドスは環境経営理念「環境への負荷を削減」「環境との調和、共生に配慮」のもと国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を重要な目標と捉え、企業の継続的価値の追求と社会課題の実現を両立させることにより他人の幸せ、企業の幸せ、だれ一人取り残さない世界の実現に貢献します。

目 次

1. 組織の概要	… 1
2. 対象範囲	… 2
3. 環境経営方針	… 4
4. 環境経営目標	… 5
5. 環境経営活動取組み計画	… 6
6. 環境経営目標の実績	… 7
7. 環境活動計画の2023年度取り組み結果とその評価、2024年度 の取組み内容	… 9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違 反、訴訟等の有無	… 10
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	… 10

1. 組織の概要

- (1) 名 称 株式会社 山陽ホドス
代表取締役 濱崎 直樹
- (2) 活動対象所在地 本 社 広島市安佐南区伴北四丁目2930番地

環境管理責任者 丹羽 輝治
TEL 082-848-5434 FAX 082-848-1224
Eメール hodosu62112@nifty.com

(4) 事業内容

会社成立年月日 昭和 62年 11月 2日

資 本 金 2,000 万円

目 的 1. 道路工事・舗装工事・水道施設工事・鋼構造物工事・管工事・防水工事・アスファルト工事・造園工事・その他土木工事及び建築工事の請負及び施工
2. 前号に関する調査・設計及び監理
3. 産業廃棄物の処理業
4. 前各号に付帯する一切の業務

【許認可書】

建設業関係

区 分	特定建設業		
許可番号	広島県知事 許可(特-2) 第21155号		
許可有効期限	令和3年 3月 4日 ~ 令和8年 3月 3日 まで		
建設業の種類	土木工事業	石工事業	しゅんせつ工事業
	舗装工事業	塗装工事業	水道施設工事業
	とび・土工工事業	鋼構造物工事業	

・産業廃棄物処理業関係

許可番号 広島県 第03409211076号

許可年月日 令和元年10月 2日

許可有効期限 令和 6年10月 1日

事業計画の概要 産業廃棄物の収集運搬を受託し、委託者の指定する場所から委託者の指定する場所まで運搬する。積替え保管行為は含まない。

区 分 収集運搬(積替え・保管は含まない)

産業廃棄物の種類 廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改廃又は除去に伴って生じたものを除く)、陶磁器くず及びがれき類(これらのうち廃容器包装及び石綿含有産業廃棄物を含み、廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

・産業廃棄物処理料金

別途 見積書による。
現物、性状確認後見積書を作成します。

(5)事業の規模

山陽ホドス 全体

活動規模	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	万円	74,623	61,283	75,225	89,753	132,101	108,228	102,130
(建設業売上高)	万円	74,623	61,283	75,225	89,753	132,101	108,228	102,130
(受託産廃収集運搬)	t	123	169	147	342	452	370	127
従業員	人	18	17	17	20	21	21	21
床面積	m ²	104	104	104	104	104	104	104
(収集運搬車 4t)	(台)	1	1	1	1	1	1	1
(収集運搬車 3t)	(台)	3	3	3	3	3	3	3
(収集運搬車 2t)	(台)	2	2	2	2	2	2	2
(収集運搬車 軽四)	(台)	0	0	0	0	0	0	0

2. 対 象 範 囲

(1) 認証登録番号 0004593

(2) 認証・登録事業者 株式会社 山陽ホドス
広島市安佐南区伴北四丁目2930番地(3) 認証・登録の
対象活動範囲 道路等の土木、舗装工事施工及び
産業廃棄物収集運搬業

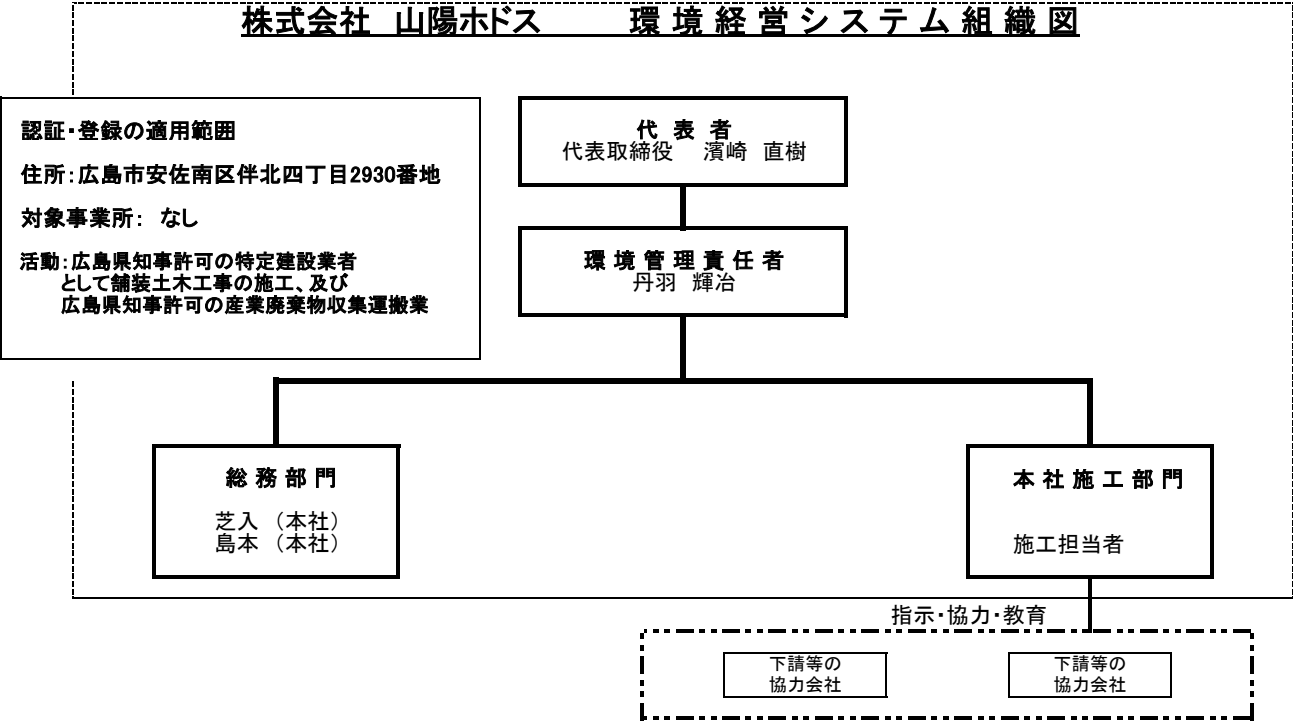
(4) 対象事業所 本社

機 構 図

代表取締役 濱崎 直樹

本社(広島安佐南)

代表取締役 濱崎 直樹
専任技術者従業員 (男) 18 名
従業員 (女) 3 名
合計 21 名



担 当	役 割（ 責 任 ・ 権 限 ）
代表者（社 長） ・濱崎 直樹	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・経営における課題とチャンスを確認する ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 ・丹羽 輝治	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・「環境関連法規制及びその他要求事項一覧表」を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営活動の取組み結果を代表者（社長）へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 ・総務部（島本）	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規制及びその他要求事項一覧表」の作成 ・「環境関連法規制及びその他要求事項一覧表」に基づく順守評価の実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・問題点の発見、是正、予防処置 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の環境事務局報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の環境事務局報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境経営計画活動の取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境保全活動へ参加 ・環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告

環境経営方針

社訓
地域社会に貢献する 技術集団をめざす

舗装土木工事業及び産業廃棄物収集運搬業の事業活動を通じて環境経営活動の継続的改善に努め、「環境保全と経済活動の両立」する持続可能な社会の実現に貢献する。

- 1) 環境法令、条例等を遵守して、適正な事業活動を推進する。
- 2) 環境と資源を大切にし、「脱炭素化(地球温暖化対策)」及び「循環型社会の構築」を基軸とした環境経営活動を推進する。
- 3) 事業活動を通じて汚染の予防に努めるとともに、環境負荷の低減を推進する。
- 4) 環境経営の取組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表する。

2024年 4月 1日 改訂適用

株式会社 山陽ホドス

代表取締役 濱崎 直樹

環境保全活動項目

事業所名: 本 社

- ① 業務の効率化改善
- ・社員の働きやすい環境の整備
 - ・事業活動における3Rの推進



- ② 環境法令、条例等の遵守



- ③ 脱炭素化(地球温暖化対策)

- ・CO2排出量の削減
- ・グリーン購買の推進



- ④ 循環型社会の構築

- ・3Rと再生資材の活用推進
- ・水資源の節水



- ⑤ 環境負荷の低減

- ・環境配慮型工法の技術営業推進
- ・生物多様性の保全を配慮した施工方法の推進



2024年 4月 1日 改訂適用

株式会社 山陽ホドス

代表取締役 濱崎 直樹

4. 環境経営目標（中期計画）

項 目		単位	基準値	2021年度実績	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
					2022年間目標	2023年間目標	2024年間目標	2025年間目標
			過去3ヶ年間実績を踏まえて基準値決定	2021/4/1 ～ 2022/3/31	2022/4/1 ～ 2023/3/31	2023/4/1 ～ 2024/3/31	2024/4/1 ～ 2025/3/31	2025/4/1 ～ 2026/3/31
売上高		百万円	1,100	1,321	1,100	1,100	1,100	1,100
業務の効率化改善	◆社員の働きやすい環境の整備		—	—	定着推進	定着推進	定着推進	定着推進
	◆事業活動における3Rの推進		—	—	設備環境整備	設備環境整備	設備環境整備	設備環境整備
	◆社員教育		—	—	教育/OJT推進	教育/OJT推進	教育/OJT推進	教育/OJT推進
二酸化炭素排出量	電気使用量	Kg-CO2	14,328	20,878	14,184(△1%)	14,041(△2%)	13,898(△3%)	13,754(△4%)
	削 減	Kg-CO2/百万円	13.03	15.80	12.89	12.76	12.64	12.50
	燃料ガソリン	Kg-CO2	165,934	204,781	164,275(△1%)	162,615(△2%)	160,956(△3%)	159,297(△4%)
	軽油 削減	Kg-CO2/百万円	150.85	155.02	149.34	147.83	146.32	144.82
	総CO2排出量	Kg-CO2	180,262	226,659	178,459	176,656	174,854	173,051
		Kg-CO2/百万円	163.87	170.82	162.24	160.60	158.96	157.32
廃棄物	一般廃棄物	kg	690	710	683	676	669	662
					(△1%)	(△2%)	(△3%)	(△4%)
	産業廃棄物	t	1300 (参考値) 再資源率	設計とおりの廃棄と実績数量把握	設計とおりの廃棄と実績数量把握	設計とおりの廃棄と実績数量把握	設計とおりの廃棄と実績数量把握	設計とおりの廃棄と実績数量把握
(ー) 再資源率100%				(ー) 再資源率100%	(ー) 再資源率100%	(ー) 再資源率100%	(ー) 再資源率100%	
水使用量の削減	上水道水	m3	90	節水取組み使用実績把握(漏水チェック)				
				(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)
資源の削減	循環資源利用	t	39,000	38,264	40,950	41,730	42,900	44,850
		%			105%	107%	110%	115%
地域社会への貢献	清掃ボランティア	回	4	4	4	4	4	4
環境活動教育訓練	教育・訓練	回	4	4	4	4	4	4
建設事業における環境配慮	環境に配慮した施工	件	—	—	2	2	2	2
廃棄物処理業	適切な運搬業務の励行	t	400	契約とおりの運搬と実績数量把握	契約とおりの運搬と実績数量把握	契約とおりの運搬と実績数量把握	契約とおりの運搬と実績数量把握	契約とおりの運搬と実績数量把握
グリーン購入	グリーン購入率	万円	163	金額設定なし	金額設定なし	金額設定なし	金額設定なし	金額設定なし
		%	61	61	グリーン購入率把握	グリーン購入率把握	グリーン購入率把握	グリーン購入率把握
生物多様性の保全	生物保全に配慮した施工実施	件	2	2	2	2	2	2
				元請工事対象	元請工事対象	元請工事対象	元請工事対象	元請工事対象
化学物質管理	化学物質の管理推進	kg	含有表の作成	情報・実績把握	実績把握	実績把握	実績把握	実績把握

※中期目標計画での購入電力の実排出係数は、中国電力2020(R2) 0.521(Kg-CO2/kwh)を使用しています。

※2021年実績値での購入電力の実排出係数は、中国電力2013(H25) 0.719(Kg-CO2/kwh)を使用しています。

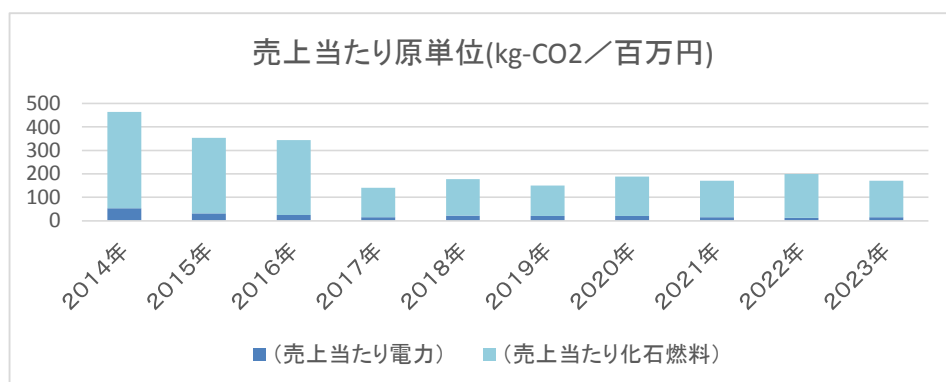
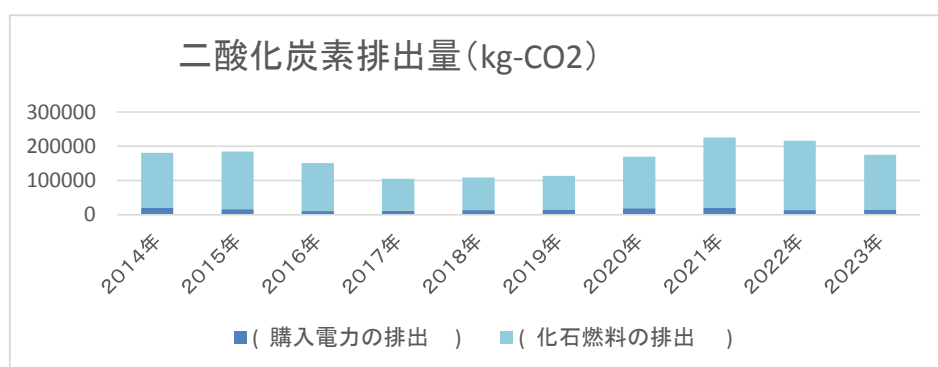
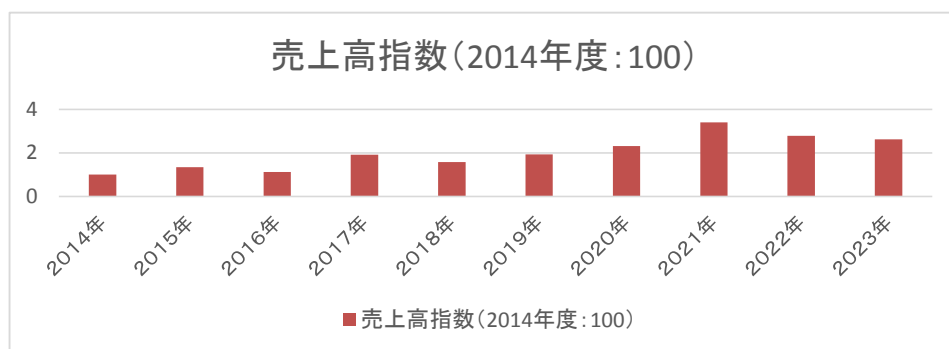
※環境経営目標は、過去3ヶ年間の実績値を踏まえて基準値を制定して、原則1年ごとに基準値から1%ずつ低減するように中期目標値を定めています。また、実績値が激変した場合は過去の実績と今後の予想を検討して変更計画目標を定めます。

5. 環境経営活動取組み計画

2023年度 環境経営活動取組み計画		
①業務の効率化改善	◆環境の整備	・”おはよう”&”ご苦労さん”&”ありがとう”の一声かけ ・『職場の4週6休』の推進定着
	◆3Rの推進	・2ヶ月全体工程管理&当日実施の黒板掲示 ・電子情報のサーバー管理化
	◆社員教育	・i-con情報等の情報化施工技術の習得 ・若手技術者奨励表彰制度対応
②二酸化炭素排出量削減	電気削減量の削減	・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・電気機器のこまめなスイッチ切り ・エアコン使用時のドアの開け放しの防止 ・帰宅時の不要な電源はすべて消す
	車施燃工料機量械の削減自動	・アイドリングストップ ・急発進、急加速、急停止の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・事前の現場確認 ・過積載を防止する防止する
③廃棄物排出量削減	物の一般削減廃棄	・分別ボックスの設置 ・使用済ファイル、封筒等の再使用 ・再資源化率の向上 ・廃棄物の再資源化処分へ取り組む
	産業廃棄物の削減	・分別解体の徹底による再生資源化 ・設計変更による発生量の軽減 ・マニフェスト票管理による法令順守 ・工事資材ロス減らす
④水使用量削減	の水節道水水	・洗い時は、バケツ使用により節水 ・節水シールでの節水意識の高揚
⑤資源削減	紙コのピ削ー減用	・文書・書類などの電子化を進め、ペーパーレス化に努める ・印刷・コピー前の設定確認チェックでミスコピーを削減する ・使用済み用紙の裏紙の再利用を推進する。
	資源循環	・循環資源利用の促進 ・再生資源材の利用を向上させる
⑥地域社会への貢献		・県道清掃活動への参加【広島県アダプト制度】 ・事務所/現場周辺の清掃活動
⑦環境教育訓練		・教育訓練を実施 ・社外セミナーへの参加
⑧建設事業における環境配慮		・SDGs取組み、省エネ、再生エネルギー ・発注者との連携(環境への配慮/長寿命配慮設計) ・防災/老朽インフラの受注 ・工事のICT推進
⑨受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		・委託契約の締結 ・マニフェスト票管理による法令順守 ・実績報告及び許可条件の順守
⑩グリーン購入		・事務用品、機械類のグリーン調達をする。 ・機械資材類のグリーン調達をする。
⑪生物多様性の保全		・施工現場の生物多様性チェック ・生物多様性の保全に影響が少ない施工方法、手順の選定と実施
⑫化学物質管理		・化学物含有の工事資材の洗い出し ・主要資材等のSDSシートの収集による化学物質含有量表の作成

6. 環境経営目標の実績

6-1 2014年度～2023年度の経年変化 (売上高指数、二酸化炭素排出量、売上高当たり原単位)



カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み(単位:t-CO₂)

区 分	化石燃料	電 力	対 策	削減率
2014年実績	160.0	20.7	省エネ	100%
2023年実績	160.0	14.9	省エネ+エコカー	97%
2030年目標	80.0	0	省エネ+太陽光発電+電気車両重機	44%
2050年実績	0	0	省エネ+太陽光発電+電気車両重機+Jクレジット	0%

6. 環境経営目標の実績

6-2 2023年度環境経営目標の実績一覧

項 目		単位	基準値	2023年度		増減	評価
				2023／4 ～ 2024／3			
				目標	実績		
売上高		百万円	1,100	1,100	1,021	93%	×
二酸化炭素排出量	全体 *1	Kg-CO2	193,200	—	174,569	—	—
		Kg-CO2／百万円	176	—	171	—	—
	電気使用量	kwh	27,500	26,950	28,596	106%	×
	削 減	Kg-CO2	14,328	14,041	14,899	106%	×
	売上指数	Kg-CO2／百万円	13.03	12.76	14.59	114%	×
	ガソリン・軽油	L	66,200	64,876	59,744	92%	○
	削 減	Kg-CO2	165,934	162,615	149,518	92%	○
	売上指数	Kg-CO2／百万円	150.85	147.83	146.44	99%	○
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	690	676	700	104%	△
	売上指数	Kg/百万円	0.63	0.61	0.69	112%	×
	産業廃棄物	t	1,300	設計とおりの廃棄と実績数量把握		1,165	適正に行われた
水使用量	上水道水	m3	90	節水取り組み使用実績把握(漏水チェック)	153	適正に行われた	—
		m³/百万円	0.08		0.15		
資源	循環資源利用量	t	39,000	41,730	19,108	46%	×
	利用率	%	90.0	90.0	95.7	106%	○
地域社会への貢献	清掃ボランティア	回	4	4	4	100%	○
環境活動教育訓練	教育・訓練	回	4	4	4	100%	○
建設事業における環境配慮	環境配慮取組み	件	—	2	2	100%	○
廃棄物処理業	適切な運搬業務の励行	t	400	設計とおりの運搬と実績数量把握	127	適正に行われた	—
グリーン購入	グリーン購入率	万円	163	金額設定なし	—	適正に行われた	—
		%	61	61	65	107%	○
生物多様性の保全	生物多様性に配慮した施工実施	件	2	2	2	100%	○
化学物質管理	化学物質の管理推進	—	含有表の作成	実績把握	実績把握	適正に行われた	△

*1 全体CO2排出量実績値には、LPG消費からの発生量 10,152kg-CO2 が含まれています。

*2 購入電力の実排出係数は、中国電力 0.521 (Kg-CO2/kwh)を使用しています。

7. 環境活動計画の2023年度取り組み結果とその評価、2024年度の取り組み内容

取組結果			○よくできた	△概ねできた	×出来なかった
取 組 み 計 画			取組結果	評 価	次年度の取り組み
①業務の効率化改善	◆環境の整備	・“おはよう”&“ご苦労さん”&“ありがとう”の一声かけ ・『職場の4週6休』の推進定着	○	・引き続き、各取組みの目的を意識して【プロセス重視】でみんなの力を結集して、《山陽ホドスとしての良い会社づくり》に向けて邁進する。	・取組みは、継続して実施する。
	◆3Rの推進	・24ヶ月全体工程管理 & 当日実施の黒板掲示 ・電子情報のサーバー管理化	○		
	◆社員教育	・i-con情報等の情報化施工技術の習得 ・若手技術者奨励表彰制度対応	○		
②二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	・冷暖房の控えめな使用(冷房28℃ 暖房20℃)	△	◆年度末超多忙期(売上高の55%/年度)の影響から電力消費は増加傾向となったが、目標値106%でオーバーできた。引き続き、細かな節電活動に取り組みを継続させて取り組みます。	・節電行動は、継続し続ける。 ・引き続き、更新時には省エネ節電効果の高い機器を設置する。
		・電気機器のこまめなスイッチ切り	○		
		・ドアの開け放しの防止	○		
		・帰宅時の不要な電源はすべて消す	○		
	車・燃料・材料・機械の削減・削減	・アイドリングストップ	○	・連絡車は前年度同様でガソリン使用量は少し減少数値となる傾向である。、施工重機関係での軽油使用量は、出来高増と運動して減少している。 ※単位売上高当たり値は、99%で良好傾向に展開している。 ◆データ把握は継続して注視する。引き続き、データ変化傾向を見極めることが必要。	・工事車両、連絡車の日常点検整備運用を定着させる。(燃料単価高騰対応も含め) エコドライブ10すすめ 削減取組み推進
		・急発進、急加速、急停止の抑制	○		
		・冷房の控えめ使用	○		
		・事前の現場確認	○		
・過積載を防止する	○				
③廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別ボックスの設置 ・使用済ファイル、封筒等の再使用	○	・計画比104%であるが、ゴミの削減活動は継続できている。 ◆事務室整理でのスポット排出量の影響で少しオーバーしているが、特に課題点は見えない。	・ゴミ持ち帰りゼロは継続する。 ・再利用を促進させる。 ・プラスチック資源循環への対応促進を図る。
		・廃棄物の再資源化処分へ取り組む	○		
		・産業廃棄物の削減	○		
	産業廃棄物の削減	・分別解体の徹底による再生資源化 ・設計変更による発生量の削減 ・マニフェスト票管理による法令順守 ・工事資材ロスを減らす	○ ○ ○ ○	◆産業廃棄物処理は、当社事業で重要な項目なので法令順守の徹底を周知してください。 ※朝礼等で法令順守の教育OJTを実施し、当社の安心安全取組みでの信頼性を向上させた。	・マニフェスト使用管理は特に注視する。
④総排水量削減	水道水の節水	・洗い時は、バケツ使用により節水	○	・前年同様に工事用水使用量が増加したが、基準年比170%程度となった。 ◆事務所は良好です。工事用水使用は施工業務に必要なものなので問題はない。	・節水活動は、継続し続ける。 ・工事用水積み込み時のオーバーフロー積み込み量の厳禁
		・節水シールでの節水意識の高揚	○		
⑤資源削減	コピー用紙の削減	・電子化を進め、ペーパーレス化に努める	○	・材工の仕事が多くなり、基準年度実態から激変し、目標値を下回った。 ◆引き続きデータ推移を把握分析して様子を見る	・必要都度の購入と再利用を継続させる。
		・印刷・コピー設定確認でのミスコピー防止	○		
		・裏紙の再利用を推進	○		
	資源循環	再生資源材の利用を向上させる	○		・資源削減活動の狙いを主要資材のロス削減に向けた
⑥地域社会への貢献		・県道清掃活動への参加【広島県フダブト制度】	○	・ほぼ計画的に実施できた。	・次年度も適切に取り組む。
		・事務所/現場周辺の清掃活動	○		
⑦環境教育訓練		・教育訓練を実施	○	・計画通りに取組めた。 ◆「日常業務でのOJT活動でも指導をお願いいたします。	・教育訓練は、継続性を持たせて実施していきたい。 ・環境法令順守教育は必ず実施する。
		・社外セミナーへの参加	○		
⑧建設事業における環境配慮		・SDGs取組み、省エネ、再生エネルギー	○	・ほぼ計画的に実施できた。	・次年度も積極的に取り組む。
		・発注者との連携(環境への配慮/長寿命配慮設計)	○		
		・防災/老朽インフラの受注	○		
		・工事のICT推進	○		
⑨受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		・委託契約の締結	○	・受託した産業廃棄物収集運搬事業では、顧客等からのクレーム等はないです。 ◆監視管理活動は、継続のこと。	・法令順守で実施する。
		・マニフェスト票管理による法令順守	○		
		・実績報告及び許可条件の対応 ・電子マニフェストへの対応に取り組む	○ △		
⑩グリーン購入		・事務用品、機械類のグリーン調達をする。	○	・必要なもののみの購入でありグリーン比率数値は65%で上向いている。 ◆引き続きエコ調達を継続する	・用品品、建設資材のエコ商品の選定推進する。
⑪生物多様性の保全		・施工現場の生物多様性チェック	○	・引き続き実施したいが物件により対応困難かも。	・次年度も継続して取組む。
		・生物多様性の保全に影響が少ない施工方法、手順の選定と実施	○		
⑫化学物質使用量		・主要資材等のSDSシートの収集による化学物質含有量表の作成	○	・PRTR法対象物質の使用は無い。	・SDS情報収集を適切に実施する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される主な法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用	遵守
騒音規制法・振動規制法	指定地域における建設作業と届出	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵と取扱、届出	—
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道 路 法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
フロン排出抑制法	空調機等の簡易点検実施記録保管	遵守
PRTR法	化学物質の自主的な管理の改善、環境汚染の防止	—
プラスチック資源循環促進法	排出の抑制及び資源化、教育訓練の実施	遵守

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規制への違反、訴訟等はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去14年間ありません。

施工現場での遵守状況は社内パトロール、社内検査、会議等を通じて順守確認しています。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

エコアクション21認証登録を頂き、継続取組みで14年半が経過した。

全従業員の参加取組みで、法令順守と環境経営活動の成果が数値となって確認でき当社の強みと課題点(弱み)が見える化でき意識変化から日常行動変化へと展開効果を感じられることが現れてきています。

今後も、混沌の時代での事業活動転換期ですが社員の取組みプロセスの変化を重要視し、引き続きEA21理念の『良い会社づくり/企業価値向上』を目指しての①業務改善効果から②環境負荷削減量(脱炭素化)と③コスト削減④法令順守等の成果結果が見える化できるように筋の通った目標管理プロセスでのPDCAサイクルを更にスパイラルアップでループ推進させる。

今後とも、当社を取り巻く業界環境は多様な競争時代が引続き進展する中で”当社の顧客信頼度/安心度の向上確保で業績確保と事業展開継続性を確立し、社員が誇れる会社の実現”に向けて全員でチャレンジ&トライしたい。

(当社信頼/安全性＝ 法令順守＋社員満足度向上＋環境保全/安全の確保＋コスト削減からの利益創出)のスローガンを今後も継続して、

”ムリ・ムラ・ムダの削減へ向けた創意工夫 ヨシ!”に全員が取り組めるように教育育成し、エコアクション21活動を更に深化させ「法令順守と環境経営からの経済活動の両立からの実のあるSDGsへの取組み」により地場建設業者として社会/地域からの信頼性を高めることにより事業継続展開できるように取り組んで従業員の雇用を確保していきます。

【指示事項】

- ・環境経営方針 ☒ 指示なし ☐ 指示あり
- ・環境経営目標/環境経営計画 ☒ 指示なし ☐ 指示あり
- ・実施体制 ☒ 指示なし ☐ 指示あり